

## 定例記者会見資料



公立大学法人  
島根県立大学

○日 時	平成23年10月12日（水） 13時30分～
○会 場	島根県立大学 本部棟2階 特別応接室
○会見者	本田雄一 理事長・学長
○会見項目	<b>【浜田キャンパス】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・北京大学国際関係学院との合同国際シンポジウム……………【資料1】</li><li>・北京農学院学長フォーラム2011……………【資料2】</li><li>・浜田市世界こども美術館との共同企画 「まんげきょうで石見をのぞこう」……………【資料3】</li><li>・Garden of Hope（平岡都さん記念花壇）の植え替え作業……………【資料4】</li></ul>
○資料提供 項目	<b>【浜田キャンパス】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・島根県立大学総合政策学会特別講演会……………【資料5】</li><li>・東日本大震災に伴う災害ボランティアの派遣……………【資料6】</li><li>・島根県立大学進路懇談会……………【資料7】</li></ul> <b>【松江キャンパス】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・大学祭（飛鳥祭）について……………【資料8】</li></ul> <b>【出雲キャンパス】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・島根県がん相談員等中央研修会……………【資料9】</li><li>・片田敏孝氏の招致講義のご案内……………【資料10】</li><li>・大学祭（つわぶき祭）について……………【資料11】</li></ul>
○行事予定	

※会見及び資料提供に関する問い合わせは、資料に記載されている担当者あてにお願いします。

なお、行事予定の問い合わせは、以下のとおり、お願いします。

浜田キャンパス 総務課 TEL 0855-24-2200

松江キャンパス 管理課 TEL 0852-26-5525

出雲キャンパス 管理課 TEL 0853-20-0200

資料提供：平成 23 年 10 月 12 日  
担当：浜田キャンパス  
交流研究課 佐草利博  
T E L 0855-24-2201

## 北京大学国際関係学院・島根県立大学合同国際シンポジウムの開催について

この度、交流提携校である北京大学国際関係学院と、通算4回目となる合同国際シンポジウムを別添パンフレットのとおり開催します。

今回のシンポジウムには、北京大学国際関係学院から4名の研究者を招き、また、日本側は宇野重昭名誉学長をはじめ、5名の研究者が講演・報告等を行う予定です。

開学以来10年以上にわたり学術研究交流を進めてきた北京大学国際関係学院と、今後の中国と日本の行方について活発な議論を行います。

下記内容につきまして学生、一般市民に公開して開催いたします。

### 記

1. 日 時:平成 23(2011)年 10 月 21 日(金) 10:00～18:10
2. 会 場:島根県立大学浜田キャンパス  
交流センター2Fコンベンションホール
3. 主 催:島根県立大学・北京大学国際関係学院
4. 共 催:島根県立大学北東アジア地域研究センター
5. 参加料:無料

※当日は日本語・中国語による同時通訳があります。

## 北京大学・国際関係学院について

【協定締結年月日】 平成 12 (2000) 年 10 月 8 日

【概要】 所在地 北京市

創立年 1996 年[1898 年※] 学生数 約 1,000 名 [約 32,000 名※]

学部等 3 専攻 (国際政治、外交学・外事管理、国際政治経済学) [35 学部※]

[ ※]は北京大学

北京大学は、清華大学と並ぶ中国の名門大学で、特に人文系、基礎理科系においては中国最高峰と言われている。国際関係学院は、社会科学部に属する単科大学 (学部) で、学生・教員数は本学とほぼ同じ規模である。

【交流実績・予定】

2002 年度：共同国際シンポジウムの開催 (10 月、於県立大学)

2002～2007 年度：異文化理解研修の実施

(8～9 月、2003 年度は 2～3 月、於北京大学)

2007 年度：合同国際シンポジウムの開催 (6 月、於県立大学)

2009 年度：合同国際シンポジウムの開催 (11 月、於北京大学)

2011 年度：合同国際シンポジウムの開催 (10 月、於県立大学)

## 北京大学報告者等プロフィール



王逸舟 [おういつしゅう] Wang Yizhou

北京大学国際関係学院副院長、中国国際関係学会副会長。  
中国社会科学院研究生院世界政治・外交研究所教授、博士課程指導教員、中国社会科学院世界政治・外交研究所副所長・研究員(教授)、『世界政治と外交』編纂の主任編集委員などを経て現職。国内多岐の大学の兼任教授、及び国内外学術界有数の権威委員を務める。また、研究代表者として、『中国外交の転機』等の重大なプロジェクトを完成させる。  
著書 『中国外交の新しい方向』(2008年)、『高位的介入—中国外交の新しい方向』(2011年)等。



初曉波 [しょぎょうは] Chu Xiaobo

北京大学国際関係学院准教授、中華日本学会理事、北京大学国際戦略研究センター学術委員。  
法学博士。1996年 大東文化大学に留学。以来、日本や韓国等を訪問し、講演と講義を行い1997年に現職。主な研究分野は中国の対外観念の変遷、日本の政治外交など。  
著書 『華英から万国までの前髪れ』(早稲、北京大学出版社2008年出版)等。



宋偉 [そうい] Song Wei

北京大学国際関係学院准教授。  
2007年7月に北京大学より法学博士号を授け、2004年—2006年 早稲田大学大学院アジア太平洋研究科で学び、2007年3月に早稲田大学より博士号を取得。主な研究分野は国際関係理論、地域—文化、アメリカ外交政策と中米関係など。  
著書(翻訳) 『国家安全の文化』(Peter J. Katzenbach編、北京大学出版社2005年)等。



董昭華 [とうしょうか] Dong Zhaohua

北京大学国際関係学院国際政治経済学学部講師。  
2004年7月に北京大学より法学博士号を取得。2003年—2009年 早稲田大学大学院アジア太平洋研究科で学び、2010年3月に早稲田大学より博士号を取得。主な研究分野は日本の対外経済政策、グローバル化の政治経済学など。

## 国内報告者等プロフィール



宇野重昭 Uno Shigeaki

鳥根県立大学名誉学長、北京大学客員教授、慶応大学顧問教授、中国社会科学院日本研究所名誉研究員。  
東京大学大学院社会科学部国際関係論専攻専攻博士課程修了。専攻博士。外務省アジア局・中国課外務事務官、成蹊大学政治経済学部助教授、同大学法学部助教授、同大学アジア太平洋研究センター長、同大学法学部長、同大学長、同学院事務部長、鳥根県立大学に赴任して現職。専門は、東アジア国際関係史、国際関係論、北京アジア地域研究。  
著書 『中国共産党史序説』(甲斐、日本放送出版会)等。



飯田泰三 Iida Taizo

鳥根県立大学大学院北東アジア開発研究科長、同大学副学長。  
東京大学大学院社会学部政治学専攻専攻博士課程修了。法学博士。法政大学法学部教授、同法学部長、同現代法研究所長、同神楽文化研究所長等を経て現職。専門は、日本政治思想史。  
著書 『批判精神の軌跡—近代日本精神史の一端』(筑波書房)等。



唐燕霞 [とうえんか] Tang Yanxia

慶応大学現代中国学部准教授。  
1996年に来日。立教大学大学院社会学部研究科博士後期課程修了。社会学博士。上海外国語大学専任講師、鳥根県立大学総合政策学部教授を経て現職。専門は、経営社会学、人的資源管理論。  
著書 『中国の企業統治システム』(早稲、創英の水書房)等。



江口伸吾 Eguchi Shingo

鳥根県立大学総合政策学部准教授。  
成蹊大学大学院社会学部政治学専攻専攻博士後期課程修了。政治学博士。鳥根県立大学助手、成蹊大学非常勤講師等を経て現職。日中社会学専攻。専門は、現代中国政治、政治学。  
著書 『中国農村における社会変遷と統治構造—改革—開放の市場経済化を契機として』(早稲、国際書院、2006年)等。



石田徹 Ishida Toru

鳥根県立大学北東アジア地域研究センター顧問助手。  
早稲田大学大学院政治学専攻専攻博士後期課程修了。政治学(早稲田大学)、専修大学社会学部二部非常勤講師、早稲田大学政治経済学術院助教授を経て2011年度より現職。専門は、日本政治史、日朝関係史(19世紀中心)、日韓政治思想史。  
著書 『博士論文』(近代移行期における日朝関係刷新交渉の研究)。



北京大学国際関係学院



鳥根県立大学

THE SCHOOL OF INTERNATIONAL STUDIES PEKING UNIVERSITY  
THE UNIVERSITY OF SHIMANE  
JOINT SYMPOSIUM

北京大学国際関係学院・鳥根県立大学 合同国際シンポジウム

# 転形期における 中国と日本

～その苦悩と展望

日時／ 10月21日(金) 10:00～18:10

会場／鳥根県立大学 交流センター 2階 コンベンションホール

主催／鳥根県立大学・北京大学国際関係学院 共催／鳥根県立大学北東アジア地域研究センター  
問合せ先／鳥根県立大学 事務局交流研究課  
tel.0855-24-2201 fax.0855-24-2208 E-mail: [tiiki@admin.u-shimane.ac.jp](mailto:tiiki@admin.u-shimane.ac.jp)



# 転形期における 中国と日本

～その苦悩と展望

## 趣意書

21世紀初頭の現在、中国と日本は多様な変化の波に晒され、両国ともに国内社会や国際関係のあるべき形を見通せない転形期の中に立たされています。

中国では、改革開放政策への転換に伴う市場経済の導入により、急速な経済成長を達成し、2010年にはGDPで日本を抜いて世界第二位の経済大国になりました。しかしその経済成長至上主義の政策は、国内社会に大きな歪みをも齎し、格差問題をはじめとする様々な矛盾を生み、強さと共に脆さも抱え込みました。

他方、日本においては、1990年代のバブル経済の崩壊から、いわゆる「失われた10年」を経験し、政治の流動化、経済成長の鈍化、社会の不安定化が進みました。また今年3月の東日本大震災では、巨大な津波や福島第1原子力発電所の事故によって、想像を絶する被害がもたらされ、日本社会の混迷は深まりました。今、われわれは、高度経済成長を頂点とする戦後復興の過程で培われた日本の近代化のあり方を問い直し、新たな日本の姿を創出する構想力が求められています。

さらに中国と日本が位置する北東アジアの国際関係に目を転じると、この地域の国際秩序も変化の真只中にあることがわかります。とくに中国は、近年の急速な経済成長を背景に政治的影響力を高め、この地域をめぐる国際政治上のパワーバランスの変化を促しました。しかも、その独自の外交政策は、この地域をめぐる国際関係ばかりでなく、むしろ歴史的に形成されてきた近代的な国際秩序のあり方をも、根源的に問い直しているのかもしれない。

本シンポジウムでは、以上の問題関心から、転形期にある中国と日本の苦悩とその展望を考察したいと思います。とくに日中両国の国内社会の変化、および両国を取り巻く北東アジアの国際関係の諸問題に焦点を当て、本学と10年余りにわたって学術交流を築き上げてきた北京大学国際関係学院の知性との対話を通じて、今後の中国と日本の行方を構想できたらと思います。

## プログラム

総合司会…李 曉東(島根県立大学)

### オープニング 10:00～

本田 雄一 島根県立大学学長 挨拶

王 逸舟 北京大学国際関係学院副院長 挨拶

基調講演①

王 逸舟 「中国の外交転換期に直面しているいくつかの難問」

副院長(北京大学)

基調講演②

飯田 泰三 「戦後日本外交の基調と、90年代以後の状況変化に対する無策」

副学長(島根県立大学)

### 第1セッション 市場経済下の光と影 13:30～

司会兼コメンテータ…林 裕明(島根県立大学)

〔報告〕

董 昭華 「グローバリゼーション、政府と社会統治—日本の経験とその中国への示唆—」

(北京大学)

唐 燕霞 「グローバリゼーションにおける格差社会の構造」

(愛知大学)

江口 伸吾 「社会主義市場経済体制下における基層社会の近代化と所有権改革—「物権法」と転形期の政治社会—」

(島根県立大学)

質疑応答

### 第2セッション 北東アジアにおける国際秩序のゆくえ 15:40～

司会兼コメンテータ…佐藤 壮(島根県立大学)

〔報告〕

初 曉波 「近代以降の東アジア国際体系変革の示唆」

(北京大学)

宋 偉 「中国の東アジア地域一体化戦略: 限度、方式とスピードの再考」

(北京大学)

石田 徹 「華夷秩序をめぐる—国際関係史的考察」

(島根県立大学)

質疑応答

### 総括 17:40～

宇野 重昭(島根県立大学名誉学長)

資料提供：平成 23 年 10 月 12 日

担当：浜田キャンパス

交流研究課 佐草利博

T E L 0855-24-2201

## 北京農学院学長フォーラム 2011 について

### ・概要

北京農学院の開学 55 周年記念行事の一環として開催し、北京農学院の海外協定締結大学および国内外の友好関係にある大学の学長を招待するもの。

フォーラムでは、国際協力を背景とした高等教育の開発について各大学から報告し、意見交換と討論を行うとともに、学術論文の収集も行い、成果として印刷物の刊行も予定している。

### ・テーマ

「国際協力を背景とした高等教育の開発について」

### ・実施主体

主催：北京農学院

### ・開催日、場所

2011 年 10 月 15 日（土） 9：00～16：30 於：北京農学院

### ・参加予定大学（順不同）

ロシア国立農業大学(ロシア)

ブエノスアイレス大学（アルゼンチン）

カザフ国立農業大学（カザフスタン）

ハーパーアダムス学院大学（イギリス）

トリノ大学（イタリア）

キャンベルスビル大学（アメリカ）

札幌学院大学、麻布大学、島根県立大学（日本）ほか

### ・本田学長の発表内容

「高等教育の質保証 ～その重要性と国際競争力」

## 北京農学院について

### 概要

中国北京市にある農学を特色とした総合大学。

また、世界の 11 カ国の 17 の大学と交流協定を締結しており、日本の大学では、麻布大学と学生の相互交流を実施している。

### 学院・部等

15 の学院および部からなる。

学院（11）：生物技術学院、植物科学技術学院、動物科学技術学院、経済管理学院、園林学院、食品科学学院、コンピュータと情報工学学院、人文社会科学学院、都市と農村発展学院、国際学院、継続教育学院、

部（4）：思想政治理論教育研究部、外国語教育部、基礎教育部、体育教育部

学部教育を中心とするが、大学院教育、高等職業技術教育、成人高等教育といった多類型・多階層の人材育成体系も有している。

### 学生数など

学生数は、約 8,000 人。

住所：北京市昌平区回龙镇北农路 7 号

### 【北京農学院との交流経緯】

- ・ 2005 (H17). 4 … 友好訪問団として、胡勇副教授外 4 名が来学。
- ・ 2006 (H18). 3 … 本学教員が北京農学院で講演
- ・ 2006 (H18). 4 … 友好訪問団として、王院長外 4 名が来学。
- ・ 2009 (H21). 10 … 友好訪問団として、高副院長外 5 名が来学し、浜田市訪問、学長への表敬訪問などを行った。

資料提供：平成23年10月12日  
担当：浜田キャンパス  
交流研究課（地域連携推進室）岡崎  
TEL 0855-24-2396

## 浜田市世界こども美術館との共同企画 「まんげきょうで石見をのぞこう」について

浜田市世界こども美術館と島根県立大学の共同企画「まんげきょうで石見をのぞこう」を開催します。これは、浜田市世界こども美術館の企画展「万華鏡の世界展（別紙1参照）」の一環として行われるもので、“万華鏡をのぞくと石見地域が見える”がテーマです。

企画展の一面に「まんげきょうで石見をのぞこう」の展示コーナーが設けられ、石見神楽の衣装作成の際に出るハギレ、石州和紙の端材、石州瓦・石見焼の破片など、石見地域ならではの素材をオブジェクトに使用した万華鏡が展示されます。

これらの素材は、学生自身が石見地域の工場等を回って集めてきたもので、展示の中でその素材や生産者の紹介も行われます。また、初日と最終日に開かれるワークショップでは、島根県立大学の学生が子どもたちの万華鏡作りを手伝いますが、その時にも素材として利用した石見地域の特産品の価値などについて、学生が解説（プレゼン）を行います。

こうした活動を通じて、学生が石見地方の地域資源を再発見し、情報発信していきます。

### 記

- 1. 日時**
  - ・展示コーナー：10月15日（土）～11月23日（水） 9:30～17:00
  - ・ワークショップ：初日と最終日の13:00～16:00
- 2. 会場**
  - ・展示コーナー：浜田市世界こども美術館
  - ・ワークショップ：浜田市世界こども美術館 1階創作室
- 3. 参加費等**
  - ・展示コーナー：一般300円、高校・大学生200円、小中学生100円
  - ・ワークショップ：参加費：1人500円
  - ※ワークショップは、人数限定（両日とも先着30名限り・先着順）  
当日1階創作室にて13:00～15:30の間、受付けます。
- 4. 特徴**

島根県立大学と浜田市世界こども美術館による、初めての共同企画です。学生は、上記のほか、「万華鏡の世界展」の展示レイアウトや、企画展の一面で絵本の読み聞かせなどを行うなど、企画段階から実施段階に至るまで、大きく関わりを持っています。
- 5. その他**

この企画は、地域資源（廃材）を異なる用途（万華鏡）で再利用し、新たな「財」として生み出していく「配財プロジェクト（別紙2参照）」の協力により行われます。



## 万華鏡の世界展について

1. 趣旨  
本展では、日本における万華鏡の第一人者である依田（よだ）満・百合子氏の作品を中心に、万華鏡の魅力に迫ります。  
展示室全体が万華鏡の世界になっていたり、影絵を組み合わせた作品があったりと、これまでに見たことのないステキな空間が広がっていることでしょう。同じ模様は二度と現れない一期一会の無限の美の世界をお楽しみください。
2. 期間  
平成 23 年 10 月 15 日（土）～11 月 23 日（水）  
9:30～17:00（休館日：毎週月曜、11/4（金））
3. 会場  
浜田市世界こども美術館・企画展示室  
（〒697-0016 浜田市野原町 859-1）
4. 主催  
浜田市、浜田市教育委員会、財団法人浜田市教育文化振興事業団  
（協賛：島根県立大学）
5. 内容  
のぞいて見る大型万華鏡  
まわり灯籠万華鏡  
投影式万華鏡（映華鏡）を床や壁に直接投影
6. 観覧料  
一般 300 円、高校・大学生 200 円、小学・中学生 100 円
7. 参考となるホームページ  
  
[http://hamada-kodomo.art.coocan.jp/modules/kikaku/index.php?content\\_id=78](http://hamada-kodomo.art.coocan.jp/modules/kikaku/index.php?content_id=78)
8. 問い合わせ  
浜田市世界こども美術館 糸川様（0855-23-8450）

## 配材プロジェクトについて

ECO RECYCLE で「廃材」を「配財」に換える！



エコ リサイクルで中小企業、零細企業、町工場から出る廃材を配財に換える新たなビジネスモデルを創り出すプロジェクトで、その無限の可能性を持つ廃材に新たないのちを吹き込み配財に換えようとするものです。

### 1. 発足経緯

東京都墨田区には、現在 2500 ものモノづくり企業があり、皮革、木工、ウレタン、メッキ、紙、ガラス、繊維、ゴム、プラスチック、金属…などの素材が加工されて、さまざまなモノたちが日々つくられています。

これらモノづくり企業に共通の課題が製造過程で発生してしまう「廃材」の廃棄です。産業廃棄物として廃棄される「廃材」を、もっと ECO で楽しくポジティブに活かしてゆくことはできないか、という思いから、墨田のモノづくり企業の若手後継者を中心に“配材プロジェクト”が結成されました。

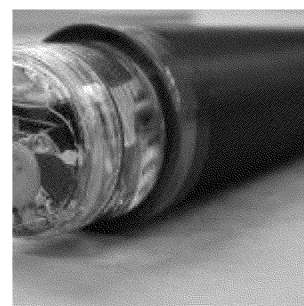
### 2. 賛同者

墨田のモノづくり企業関係者 5 名のほか、プランナーの柁（まさき）尚美さん、三田 大介さんなどがコアメンバーとなり、他に 14 名の企業関係者らがサポーターとなり、このプロジェクトを進めております。

### 3. 取組

これまで捨てられていた、ニット生地を編むときに一緒に編み込むゴムが巻いてあるプラスチックの糸管（しかん）を利用して万華鏡を作ってみてはということから、2010 年 10 月 2 日、すみだまつりにおいて初の「万華鏡ワークショップ」が開かれました。

その後、2011 年 1 月 28 日には工場見学&万華鏡ワークショップ、2011 年 4 月 19 日には『配材プロジェクト』展が 開催されています。



4. 参考となるホームページ <http://www.haizai.jp/>

### 5. 石見地域版での協力団体等

石州瓦工業組合、石見陶器工業協同組合、石州和紙協同組合、西田製材所、協同組合グループ石見ブランド

# 万華鏡の世界展

日本

を代表する万華鏡作家の

依田 海・百合子さんの作品を紹介。

ふしぎな世界を楽しもう！



子ども美術館が万華鏡に?

2011  
10月15日〔土〕

11月23日〔祝〕

浜田市世界子ども美術館

オープニングイベント  
10/15(土) 午後7時より前庭にて



子ども美術館の外壁をスクリーンに見立てた  
投影万華鏡によるライトアップイベントがあるよ!



※開館時間/午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)  
※休 日/毎週月曜日、11月4日(金)  
※主 催/浜田市、浜田市教育委員会  
財団法人浜田市教育文化振興事業団  
※協 賛/浜田県立大学  
※観 覧 料/一般300円(200円)、高校生・大学生200円(100円)  
小学・中学生100円(50円) ※17歳未満は大人半額

※どなたでも見学いただけます。(見学無料) ※雨天の場合は中止となります。

平成23年10月12日  
島根県立大学 浜田キャンパス  
総務課 土井  
TEL : 0855-24-2200

## 「Garden of Hope(平岡都さん記念花壇)」の植え替え作業について

### 1. 趣旨

尊い命を奪われた平岡都さんの御霊を慰め、彼女が抱いた「夢」を引継ぎ、一人ひとりが自らの「夢」を実現することを誓って設置した花壇（「Garden of Hope」）の植え替え作業を行うと共に、安全安心・防犯の誓いを新たにする。

### 2. 実施内容

- (1) 日時 10月26日(水) 12:30～13:00
- (2) 場所 花壇（「Garden of Hope」）前
- (3) 主催 島根県立大学、島根県立大学学友会
- (4) 内容
  - ・ 黙禱
  - ・ 学長あいさつ
  - ・ 花壇の植え替え作業



花壇全景 (H23. 10. 11)

平成23年10月12日  
島根県立大学浜田キャンパス  
担当者：交流研究課 今田、島田  
電話：0855-24-2201

## 島根県立大学総合政策学会特別講演会の開催について

島根県立大学総合政策学会では、各界の第一線で活躍されている文化人、経済人等を講師に迎え、教員・学生はもとより地域住民の皆様を対象に講演会を開催しております。今回は下記のとおり、作家・地域活動家の森まゆみ氏にお話しいただきます。

### 記

- 講師 作家・地域活動家 森 まゆみ 氏
- 演題 「内にコスモスを持つものは - - 木次乳業と群言堂の試み」
- 日時 平成23年11月10日（木）15時～16時30分
- 会場 島根県立大学 講堂

※注：演題は、「内にコスモスを持つものは世界のどんな辺遠にいても一地方的存在を脱する」という、高村光太郎が宮沢賢治について書いた文章から引用されています。



### ◇【講師プロフィール】

1954年東京生まれ、早稲田大学政経学部卒、東京大学新聞研究所修了。出版社勤務をへて1984年、地域雑誌『谷中・根津・千駄木』（通称『谷根千』）を創刊。町の歴史を掘り起こし、聞き書きで定着する。楽しく町に住む方法を広め、谷根千にはたくさんの人がやって来て、文化活動も盛んになった。これによりNTTタウン誌大賞、サントリー地域文化賞などを受賞。また、無秩序な開発に異を唱え、上野の奏楽堂、赤煉瓦の東京駅、その他地区内の民家の保存・活用に尽力。これにより日本建築学会文化賞を受ける。

元東京国際大学教授、日本ナショナルトラスト理事。著書に『谷中スケッチブック』『不思議の町根津』『谷根千の冒険』『東京遺産』『鴉外の坂』『即興詩人のイタリア』『自主独立農民という仕事』『起業は山間から』など多数。現在は谷根千の四半世紀に集めた資料を『記憶の蔵』として準備する一方、キキガキストとして、また映像による地域の記録を続ける。2007年、原田病にかかり、自己免疫疾患と漢方に付いて勉強中。近著に『おたがいさま』がある。

※入場無料、事前申込は不要です。

島根県立大学総合政策学会は、総合政策学に関わる研究、発表及びその他本学設立の趣旨にかなう幅広い分野に関する研究活動並びに内外の学者、研究者等を招待した研修とその報告活動を目的としており、本学の教員、学生を主な会員としています。

年2回特別講演会開催のほか、「総合政策論叢」の発刊、学生表彰などの活動を行っております。

平成 23 年 10 月 12 日  
 島根県立大学浜田キャンパス  
 担当者：交流研究課 島田  
 (0855-24-2201)

東日本大震災に伴う災害ボランティアの派遣について

島根県社会福祉協議会が 10 月に派遣する「島根県災害ボランティア隊」に、公立大学法人島根県立大学の 3 キャンパスから、学生・職員計 20 名が参加します。

今回は、宮城県南三陸町でがれき撤去などの活動に従事します。

今回の派遣により、5 月～10 月の本学学生参加者は、のべ 152 名となります。

クール	活動地域（宿泊地）	募集定員	実派遣数	内、公立大学法人島根県立大学の学生			
				浜田	松江	出雲	計
1	宮城県南三陸町	25	23	3	0	1	4
2		25	29	14	1	0	15
計		50	52	17	1	1	19

注：2クールについては、学生のほか出雲キャンパスの職員が 1 名参加します。



## 東日本大震災「島根県災害ボランティア隊」募集要項

### 1 趣 旨

島根県社会福祉協議会（以下「本会」といいます。）では、5月9日から11回にわたり「島根県災害ボランティア隊」を編成し延べ272名の県民を宮城県及び岩手県内の被災市町へ派遣してきました。

被災地においては仮設住宅への入居が進むなど復興への兆しも見られますが、一方で、今なお被災市町においてボランティア支援が求められています。

このため、本会では宮城県社会福祉協議会（宮城県災害・被災地社協等復興支援ボランティアセンター）からのボランティア派遣要請に基づき、県民を対象とした「島根県災害ボランティア隊」を再度編成し、南三陸町に派遣します。

### 2 活動地域

宮城県南三陸町

### 3 活動期間・行程

○第1クール 平成23年10月12日（水）～10月16日（日）

○第2クール 平成23年10月19日（水）～10月23日（日）

第1日（水）	14:00～	いきいきプラザ島根1Fロビーに集合（受付）
	14:45	出発式
	15:00	いきいきプラザ島根出発～大型バスで移動（車中泊）～
第2日（木）	8:00	南三陸町災害ボランティアセンター着
	9:00～16:00	ボランティア活動
	16:00～17:00	宿舎へ移動（大型バス）
第3日（金）	17:00～	宿舎着（食事・宿泊）
	8:00～ 8:30	南三陸町災害ボランティアセンターへ移動
	9:00～16:00	ボランティア活動
第4日（土）	16:00～17:00	宿舎へ移動（大型バス）
	17:00～	宿舎着（食事・宿泊）
	8:00～ 8:30	南三陸町災害ボランティアセンターへ移動
第5日（日）	9:00～15:00	ボランティア活動
	15:00～16:00	南三陸町災害ボランティアセンターへ移動・手続き等
	18:00	南三陸町を出発 ～大型バスで移動（車中泊）～
第5日（日）	11:00	いきいきプラザ島根着
	11:15～12:00	解団式

### 4 活動内容

南三陸町災害ボランティアセンターから要請されるボランティア活動

（主な活動：瓦礫撤去、被災家屋の片付け、側溝の泥出し、草刈り等）

※活動中の余震の発生も考えられます。

※重労働が予想されますので、体調が悪い方、体力に自信のない方はお申し込みをお控えください。

### 5 募集人員【島根県民（島根県に在住される方）に限る。】

各クール 25名

※原則として参加申込順とします。

※一度災害ボランティア隊に参加された方も派遣対象としますが、初回参加者を優先します。

## 6 参加費

1人 16,880円（1泊2食 8,440円×2日分）

※宿泊施設に直接お支払いください。

※活動期間中の飲食代はすべて自己負担となります。

## 7 服装・持参品

現地での物品調達は困難が予想されますので、次のものを各自で持参してください。

作業着（汚れても良い服装）、雨具（カッパ等）、底の厚い靴又は長靴（踏み抜き防止中敷きが必要）、防じんマスク、ゴーグル、厚手のゴム手袋、カッパ（上下）、タオル、帽子、常備薬、食料、飲料水、保険証

\*スコップ等の作業道具は本会で準備します。

\*活動日の昼食については各自で準備が必要です。（高速道路のサービスエリア又はコンビニエンスストアで購入が可能です。）

## 8 保険加入

参加者には、ボランティア活動保険に加入していただきます。保険加入料は本会で負担します。

## 9 留意事項

- (1) 現地の受入方針の変更等により、派遣を中止する場合があります。
- (2) 自己責任・自己完結を原則とし、被災地に負担をかけないようにするとともに、被災された方の心情に配慮した言動、行動に心がけてください。
- (3) 雨天・余震等の関係で、やむを得ず活動が中止になる場合があります。
- (4) 活動先でのトイレ確保が困難な場合があります。
- (5) 初日と最終日は、バスの中で車中泊となります。移動中の食事は、高速道路のサービスエリアが利用できます。
- (6) 集合場所であるいきいきプラザ島根の駐車場は利用できませんので、自家用車でのお越しはご遠慮ください。

## 10 宿泊施設

南三陸ホテル観洋 （住所）〒986-0766 宮城県南三陸町志津川字黒崎 99-17  
（電話）0226-46-2442

\*男女別に相部屋となります。お風呂、トイレは使用可能です。

\*宿泊費用その他の精算は、すべて直接施設との間で行ってください。

\*歯ブラシ、カミソリ、浴衣は宿泊部屋にあります。

\*売店は、午前7時から午後10時まで営業しています。

## 11 参加申込み、問い合わせ先

別紙参加申込書に必要な事項を明記の上、電子メール又はファクシミリでお申し込みください。

<申込期限> 第1クール 平成23年9月30日（金）まで

第2クール 平成23年10月7日（金）まで

社会福祉法人島根県社会福祉協議会（島根県ボランティア活動振興センター）

〒690-0011 島根県松江市東津田町1741-3 いきいきプラザ島根

（電話）0852-32-5997 （FAX）0852-32-5982

\*電話での対応は、土日祝を除く8:30から17:00まで

（メール）voc@fukushi-shimane.or.jp



記者発表資料

H23.10.12

キャリア支援室 福代

TEL0855-24-2202

## 平成23年度島根県立大学進路懇談会について

学生、保護者及び大学関係者が一堂に会して、学修や大学生活及び進路に関する情報交換により情報の共有を図ることを目的とする。

- 開催日 平成23年10月29日(土) 13:00～17:30
- 場所 島根県浜田市 島根県立大学内 講堂
- 対象者 1年生～3年生の学生及び保護者
- 内容
  - 全体会(講堂)
    - 開会あいさつ (13:00～13:10)
    - (1) 学長あいさつ (13:10～13:30)
    - (2) 大学の近況について
      - 学生生活部長 (13:30～13:50)
      - 教務部長 (13:50～14:10)
      - キャリアセンター長 (14:20～15:00)
  - ゼミ担当教員との懇談会(体育館) (15:30～17:30)
    - ※要予約 進路、卒業、学業成績、学生生活など 15～20分程度

### ゼミ担当教員の方へのお願い

- 日程の確保のお願い(面談希望が無い場合は解除あり)
- 呼び出したい保護者をキャリア支援室に連絡(締め切り:10月12日(水))
- 講堂以外の場所での面談希望の連絡(締め切り:10月20日(木))

### 準備スケジュール

- 10月14日(金) 保護者からの申込み締め切り
- 10月18日(火) 先生方へ懇談会リスト配布(懇談会の希望の有無判明)
- 10月26日(水) 先生方へ懇談会資料配布(学生の成績表等)

### 昨年の状況

全体会出席者 133人(学生105人の保護者)  
 懇談会出席者 71人(学生71人の保護者)

- 問い合わせ・担当 キャリア支援室 福代(ふくしろ)

## 飛鳥祭実施計画書

### 1. 期 日

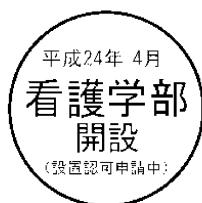
平成23年10月15日（土）～10月16日（日）

### 2. 開催行事内容

実行委員会催し物	開会式	15日	10:00～	キャンパス・フォーラム
	ビンゴ大会	15日	11:00～	キャンパス・フォーラム
	トークショー	15日	14:00～	体育館
	男装・女装、ミスコン	16日	15:00～	体育館
	後夜祭	16日	17:00～	体育館
模擬店		15・16日	10:00～	キャンパス・フォーラムほか
ゼミ関連企画		15・16日	10:00～	キャンパス・フォーラムほか
学科別展示		15・16日	10:00～	キャンパス・フォーラムほか
クラス・クラブ別催し物		15・16日	10:00～	キャンパス・フォーラムほか

### 3. タイムテーブル

時間	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
第1日目		開会式 ↕		ビンゴ大会 ↔		トークショー ↔		← 模擬店 →					
第2日目										後夜祭 ↔			
						ミスコン、男女装結果発表 ↔		← 模擬店 →					



平成23年10月12日  
島根県立大学 出雲キャンパス  
看護学科 平野 文子  
管理課 金築 利博  
電話0853-20-0200

## 平成23年度島根県がん相談員等中央研修会の開催について

### 1. 目的

島根県内のがん患者・家族の不安や疑問に対して、がんに対する必要な情報を提供し、適切な相談支援ができるよう実践力を高める。

### 2. 全体日程

平成23年10月29日(土) 13:00～17:00  
10月30日(日) 9:30～13:00

### 3. 会場

島根県立中央病院 3階 会議室1  
(出雲市姫原4-1-1)

### 4. 主催

島根県  
島根県立大学短期大学部出雲キャンパス がん相談員研修委員会

### 5. 内容・対象

#### 1) 内容

10月29日(土)

#### ○講演

①「がん相談員に期待するもの」 13:10～13:25

講師: 藤原 修 氏ふじはら おさむ / 島根県健康福祉部医療政策課がん対策推進室長

②「バッドニュース後の患者・家族とのコミュニケーションPart1」

～どのように聴き、何を共有し、どのように応答するか～ 13:30～17:00

講師: 福地智巴氏ふくちともほ / 静岡県立静岡がんセンター疾病管理センター

医療ソーシャルワーカー 主幹

○展示: 医療用ウィッグ、弾性ストッキング 13:00～17:00

10月30日(日)

○講演

①「がんの病態と最新の治療」 9:30～10:30

もりやまいちろう  
講師:森山一郎氏/国立大学法人島根大学医学部附属病院腫瘍センター助  
教

②「バッドニュース後の患者・家族とのコミュニケーションPart2」

～どのように聴き、何を共有し、どのように応答するか～ 10:40～13:00

ふくちともは  
講師:福地智巴氏/静岡県立静岡がんセンター 疾病管理センター  
医療ソーシャルワーカー 主幹

○展示:医療用ウィッグ、弾性ストッキング 9:30～13:00

2)対象:がん相談に携わる医療ソーシャルワーカー、看護師

## 6. 出席者・参加人数

参加人数:約60名

## 7. 参加方法

### 1)参加方法

所定の申込用紙に必要事項を記入の上、FAXにて「島根県立大学短期大学部出雲キャンパス がん相談員等資質向上事業事務局」へ申し込む。

### 2)参加費

無料

## 8. これまでの経緯や今回の特徴など

この研修会は、島根県立大学短期大学部出雲キャンパスが島根県から委託を受けた「平成23年度がん相談員等資質向上事業」の1つである、「がん相談員研修事業」の一環として行うものです。

がん患者や家族の不安を緩和するためには、相談に適切に対応できる人材の育成が必要であり、これまで、がん相談員等の研修は、島根県主催で行われていましたが、今年度からは、がん相談の専門的知見を有する方により構成された「がん相談員研修委員会」を設置し、その委員会で研修プログラムを検討し、研修会を開催することにしました。今回の研修会はその第1弾となる研修会です。

研修会では、相談に対応する上で必要ながんの病態や最新の治療、コミュニケーションスキル等、実践に役立つ知識・技術を講義や演習を通して学んでいただきます。



平成 23 年 10 月 12 日  
島根県立大学  
短期大学部 出雲キャンパス  
看護学科 別所史恵  
電話 0853-20-0200〔代表〕

### 片田敏孝氏の招致講義のご案内

#### 1. 目的

災害看護の講義において、実践的な取り組み・具体策、災害への理解を深めるために招致講義を企画した。

災害看護における学生の目的は、「災害が人々の健康や生活に影響を及ぼすことを理解し、さらに災害サイクルにおける被災者の健康や生活のニーズに応じた看護の果たす役割を学ぶ。特に、個人の備えや地域防災に関する理解を深める。」である。

今回は、災害社会工学がご専門で、石巻市において実際に震災後調査等行われてきた片田敏孝(かただとしか)氏を講師にお迎えし、学生に具体的なお話が伺えると期待している。非常に貴重なお話が伺えると思うので、一般にも公開することとした。

#### 2. 日時

平成 23 年 11 月 16 日(水) 10 : 40 ~ 12 : 10

※ 10 : 30 より開場

#### 3. 場所・会場

島根県立大学短期大学部出雲キャンパス

3階 大講義室

#### 4. 内容

招致講義

テーマ「想定外を生き抜く力

—大津波から生き抜いた釜石市の児童・生徒の主体的行動に学ぶ—

講師:片田敏孝 氏

群馬大学広域首都圏防災研究センター長、

群馬大学大学院工学研究科 教授

講師のプロフィールはチラシを参照のこと。

## 5.対象

本学看護学科3年次生 89名

本学地域専攻科学生 30名 本学教職員

その他 地域一般住民

(300人以内)

## 6.参加方法

看護学科3年次生の講義ですが、興味関心のある方はご自由にご参加ください。一般の方にも公開授業としています。特に事前の申し込みは必要ありません。無料です。

## 7.その他

片田先生から具体的な震災の様子や先生の体験談はもとより、そこから私たちへの災害に対する教訓を学術的に分かりやすくご講義していただければと思います。東日本大震災も急性期を過ぎ、少しずつ復興が進んでいますが、災害に対する認識や備えの重要性を風化させないためにも多くの方に聞いていただきたいと思います。



# 17th TSUWABUKI FESTIVAL

2011年  
10.15 [SAT]  
16 [SUN]

THE UNIVERSITY OF SHIMANE  
島根県立大学 短期大学部 出雲キャンパス

**神戸川太鼓** ●15日 10:15~10:35

**バルーンショー** ●16日 10:35~11:30

**こと 箏演奏** ●15日 12:00~12:30

モギ店もいろいろとぞろぞろしております。  
敷高子・どんぶり・岩飛騨・ドリンク・フランクフルト・お好み焼き・クッキー・焼きそば  
飲食店ではお土産・たこ餅・パフェ・ペーパーカステラ・ドーナツ&りんごアメ

**ダンスサークル** ●16日  
ステージ発表 13:40~14:20

10月15日 ● つわぶき祭スケジュール 10月16日 ●

- |  |   |
|--|---|
| 10:00~10:15 ● オープニング (オロリン登場)            | 10:00~10:15 ● オープニング (オロリン登場)           |
| 10:15~10:35 ● 神戸川太鼓                      | 10:15~10:25 ● 機織店紹介                     |
| 10:35~10:40 ● 風船飛ばし                      | 10:25~10:40 ● バルーンショー                   |
| 10:40~11:00 ● バルーンショー                    | 10:40~11:10 ● お口の中が〇〇祭りじゃ               |
| 11:00~11:30 ● SNC〇〇自慢                    | 11:30~12:00 ● この子は誰?                    |
| 11:30~11:50 ● 機織店紹介                      | 12:00~12:30 ● 舞サークル演奏                   |
| フライトナース企画紹介                              | 12:30~12:45 ● バルーンショー                   |
| 11:50~12:00 ● バルーンショー                    | 12:45~12:55 ● ウクレレ演奏                    |
| 12:00~12:30 ● 舞サークル演奏                    | 12:55~13:25 ● 男装・女装大会コンテスト              |
| 12:40~13:30 ● 健康まつりチアダンス、鼓太鼓、傘踊り、どじょうすくい | 13:30~14:20 ● ダンスサークル発表                 |
| 13:30~15:00 ● 機織サークルライブ                  | 14:30~14:50 ● 機織店ランキング                  |
| 15:00~15:15 ● フィナーレ (オロリン登場)             | 14:50~16:00 ● よしととひうたの新感覚紙芝居のライブパフォーマンス |
|  | 16:00~ ● フィナーレ (オロリン登場)                 |

今年も新しく考えた みなさんにも楽しんでもらえる企画をご用意しました!!

景品もあるのでドシドシ参加してくださいね!!  
〇〇自慢・女装・男装大会\*などなど...

**ゲストライブ 15日**  
**バリデライト**  
homme(オム) 入場無料  
chaqq(チャック)  
会場: 出雲キャンパス体育館  
●開場16:00 ●開演16:30~

**16日** よしととひうたの新感覚紙芝居のライブパフォーマンス  
紙芝居と音楽の  
コラボレーションライブ!  
ライバーパーストリー 14:50~16:00

**健康まつり 10月15日・16日**  
**健康チェック 215** 無料  
10/15 10:00~16:00  
10/16 10:00~14:00  
先生による健康相談  
血圧、体組織  
骨密度、血管年齢

**防災ヘリ**  
**ドクターヘリ**  
**パネル展示会** 209 講義室  
10/15 11:00~16:00  
10/16 11:00~16:00

学祭全般の問い合わせ先  
**出雲キャンパスつわぶき祭実行委員会**

TEL (0853) 20-0200 まで  
E-mail [www.izm.u-shimane.ac.jp](http://www.izm.u-shimane.ac.jp)  
<http://www.u-shimane.ac.jp> 一畑電鉄川跡駅下車 徒歩5分